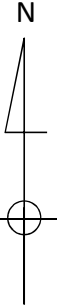


土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



凡例

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア)
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下)
- ★ : 表面汚染密度(重機)

土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/10 (稼働前)		100	6.8
	2019/3/6 (稼働後)		37	9.8
下流	2018/9/10 (稼働前)		19	11
	2019/3/6 (稼働後)		16	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10 (稼働前)		ND
2019/3/13 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/3/6		8.4	1.6	21	2

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/3/8 ~2019/3/28	29	0.0	0.4	ND	1005

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/3/6		23

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3 (稼働前)		ND	ND
2019/3/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/3/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.2
フィルタープレステント	0.1
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/3/6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.48
フィルタープレステント	0.30
貯蔵エリア	1.24

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/6 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/3/27 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	設備(ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.72 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2018/9/10 (稼働前)	100	6.8
	2019/2/6 (稼働後)	43	9.3
下流	2018/9/10 (稼働前)	19	11
	2019/2/6 (稼働後)	16	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10 (稼働前)		ND
2019/2/19 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2019/2/6	8.4	0.6	18	3

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/2/20 ~2019/2/21	2	0.1	0.1	ND	70

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定日	測定項目	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
2019/2/6		12

SS基準: 60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3 (稼働前)		ND	ND
2019/2/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/2/1 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント	0.2
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/1 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンブアップテント	0.48
フィルタープレステント	0.30
貯蔵エリア	1.31

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/1 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/2/27 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンブアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレステント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	重機	ND
	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
境界(北側)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.72 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2019/1/16	(稼働後)	55	8.2
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2019/1/16	(稼働後)	16	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2019/1/16	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質量
		(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
2019/1/16		8	ND	12	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(0.5mg/L)未満であることを示す。

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/1/22	2	0.1	0.1	ND	68

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/1/16		6

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
		(Bq/L)	(Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2019/1/16	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/1/18
	(稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.7
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	0.4

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/1/18
	(稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.49
フィルタープレセント	0.29
貯蔵エリア	1.21

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/1/18
	(稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137: 5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2019/1/28	
	(稼働後)	表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレセント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
貯蔵エリア	設備	ND
	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	設備(ベルトコンベア)	ND
重機	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.67 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年12月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/10 (稼働前)		100	6.8
	2018/12/5 (稼働後)		66	8.4
下流	2018/9/10 (稼働前)		19	11
	2018/12/5 (稼働後)		16	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10 (稼働前)		ND
2018/12/27 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/12/5		7.9	1.6	12	5

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/12/7 ~2018/12/12	2	4.0	4.3	ND	69

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/12/5		19

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3 (稼働前)		ND	ND
2018/12/12 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目	2018/12/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント		0.7
フィルタープレステント		ND
貯蔵エリア		ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/12/7 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンブアップテント	0.49
フィルタープレステント	0.30
貯蔵エリア	1.23

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/12/7 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/12/26 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンブアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	設備(ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.66 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年11月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2018/11/7	(稼働後)	85	7.7
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2018/11/7	(稼働後)	20	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2018/11/26	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/11/7		7.6	0.5	8.7	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/11/5 ~2018/11/20	7	0.1	2.3	ND	239

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/11/7		13

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2018/11/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2018/11/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント	0.9
フィルタープレステント	0.1
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/11/5 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンブアップテント	0.58
フィルタープレステント	0.30
貯蔵エリア	0.69

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/11/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2018/11/27 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
ダンブアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレステント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	設備	ND
	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
境界(南側)	ND	
境界(北側)	ND	
設備(ベルトコンベア)	ND	
重機	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.68 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年10月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2018/9/10 (稼働前)	100	6.8
	2018/10/3 (稼働後)	140	10
下流	2018/9/10 (稼働前)	19	11
	2018/10/3 (稼働後)	15	5.7

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2018/9/10 (稼働前)	ND
2018/10/31 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2018/10/3	7.2	0.9	3.8	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/10/2 ~2018/10/27	22	0.0	1.0	ND	660

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2018/10/3	36

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2018/9/3 (稼働前)	ND	ND
2018/10/3 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2018/10/11 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.5
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/10/11 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.57
フィルタープレセント	0.30
貯蔵エリア	1.48

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/10/11 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2018/10/25 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレセント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	東側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(北側)	ND
設備(ベルトコンベア)	ND	
重機	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.67 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年9月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2018/9/19	(稼働後)	97	6.2
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2018/9/19	(稼働後)	19	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2018/9/28	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/9/25 ~2018/9/27	15	0.0	4.0	ND	609

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2018/9/19		1

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2018/9/19	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定実績なし。(10月から測定を開始)

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/9/29 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンブアップテント	0.57
フィルタープレステント	0.30
貯蔵エリア	0.53

★空気中の放射能濃度

測定実績なし。(10月から測定を開始)

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目	2018/9/25 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンブアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	設備(ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.68 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²